



平成24年 4月27日

長岡市長 森 民夫 様

〒947-0204

申請者 住 所 長岡市山古志竹沢甲2835

団 体 名 山古志住民会議

代 表 者 (代表) 星野 勇



平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金交付申請書

平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

事業名	お見合いプロジェクト ～地域の想いを次世代につなぐ、山古志らしい交流の場をつくろう！～																																
事業概要	<p>【目的】</p> <p>震災前、若者を中心とした実行委員会主催による「スキーNOW」というお見合いイベントがあり、数多くの結婚実績が作られている。このように企画段階から若者が集うことで、議論や交流が生まれるきっかけとなり、地域を想うところを次世代へとつなぎたい。さらに、地域活性化の基盤となるのが「結婚」であり、若者の集う場づくりを行いながら、持続的な地域活動へとつなげてきたい。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手部会の開催 ・お見合いイベントの広報・募集 ・お見合いイベントの企画・実施 																																
補助申請額	<table border="1"> <tr> <td>下記 (F)の額を記入</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>円</td> </tr> </table>			下記 (F)の額を記入	2	8	0	0	0	0	円																						
下記 (F)の額を記入	2	8	0	0	0	0	円																										
補助申請額算出の基礎	<table border="1"> <tr> <td>支出の部合計(A)</td> <td>補助対象外経費(B)</td> <td>補助対象経費(C)</td> </tr> <tr> <td>550,000円</td> <td>200,000円</td> <td>350,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの</td> <td>特定財源(D)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>(C)-(D)=補助金算出対象額</td> <td>(補助率)</td> <td>補助金額 (E)</td> </tr> <tr> <td>350,000円</td> <td>80%</td> <td>280,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td colspan="3">補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※金額の上限は50万円です</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">280,000円</td> </tr> </table>			支出の部合計(A)	補助対象外経費(B)	補助対象経費(C)	550,000円	200,000円	350,000円	事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの		特定財源(D)			0円	(C)-(D)=補助金算出対象額	(補助率)	補助金額 (E)	350,000円	80%	280,000円	↓			補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)			※金額の上限は50万円です			280,000円		
支出の部合計(A)	補助対象外経費(B)	補助対象経費(C)																															
550,000円	200,000円	350,000円																															
事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの		特定財源(D)																															
		0円																															
(C)-(D)=補助金算出対象額	(補助率)	補助金額 (E)																															
350,000円	80%	280,000円																															
↓																																	
補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F)																																	
※金額の上限は50万円です																																	
280,000円																																	
事業期間 (予定)	着手	平成24年 6月 1日	完了 平成25年3月31日																														
添付書類	<input type="checkbox"/> 団体の概要説明書 (第2号様式) <input type="checkbox"/> 事業計画書 (第3号様式) <input type="checkbox"/> 事業の収支予算書 (第4号様式)																																



第2号様式

受付 No

平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体の概要

1. 申請団体の概要および申請事業の計画等【公開対象】

ふりがな	やまこしじゅうみんかいぎ		
団体名	山古志住民会議		
代表者氏名	(肩書: 代表) 星野 勇		
設立年月日	昭和	平成	19年 8月 10日
	構成員数	16人	
設立目的	中越大震災からの山古志地域の復興推進や地域振興を進めるにあたり、地域住民や支援団体や大学、行政などが連携して、地域全体の現状やなりたい姿(将来像)、「復興・感謝」などについて議論し、地域住民や来訪者に本当に必要なものを目に見えるソフト・ハード事業として展開していくことで、地域全体の活性化を目指すことを目的とする。		
これまでの活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・総会、運営会議および、各専門部会(直売所、若手鯉師など)の開催 ・全国へのお礼状発送および、「やまこしありがとうまつり」「やまこし帰村式」「感謝の集い」など、感謝の気持ちを発信する事業の企画・実施 ・「よつトレプロジェクト」の開始 ・10.23 メモリアル事業の企画・運営(つなごう山古志の心展、復興の灯りなど) ・「やまこし夢プラン」基本構想・行動計画の策定 ・地域情報をまとめた活動報告誌・パンフレットの作成および、発送 ・被災地支援活動(中越沖地震、中国四川省大地震、東日本大震災など) ※その他、集落や住民団体の活動支援を随時検討・実施 		
過去の補助実績 (該当する場合のみ)	年度	補助を受けた制度の名称	補助金額(円)
	22	被災者生活支援対策事業(復興支援ネットワーク)補助金	4,314,000
添付資料	事業計画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり	
	収支予算等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり	
	その他、団体をPRするパンフレット等	有 ・ 無 (どちらかに○印)	

2. 申請団体の連絡先等【公開、非公開を選択※】

事務所所在地	長岡市山古志竹沢甲2835	【公開】・非公開	
電話・FAX番号等	電話 59-2301 FAX 59-2302	【公開】・非公開	
	Eメールアドレス yamakoshi1023@gmail.com		
担当者連絡先	氏名	井上 洋	【公開】・非公開
	住所	長岡市山古志竹沢甲2835	
	電話・FAX番号等	電話 59-2301 FAX 59-2302	
		Eメールアドレス yamakoshi1023@gmail.com	
添付資料	名簿またはこれに類するもの	・別添のとおり	【公開】・非公開
	規約またはこれに類するもの	・別添のとおり	【公開】・非公開

※ 個人情報保護の観点から、広く公開してもよいものなら“公開”に、そうでないものは“非公開”に○を付けてください。

※ 2の添付資料(名簿類・規約類)については、交付審査の際の資料として審査関係者に提示する場合があります。

事業計画書

事業名	お見合いプロジェクト ～地域の想いを次世代につなぐ、山古志らしい交流の場をつくろう！～
事業実施の目的 (目的 現状 課題 必要性)	震災前、若者を中心とした実行委員会主催による「スキーNOW」というお見合いイベントがあり、数多くの結婚実績が作られている。このように企画段階から若者が集うことで、議論や交流が生まれるきっかけとなり、地域を想うところを次世代へつなごう。さらに、地域活性化の基盤となるのが「結婚」であり、若者の集う場づくりを行いながら、持続的な地域活動へとつなげてきたい。
事業内容 (実施月日 実施場所 参加者数 実施内容等)	<p>【若手部会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の若手によるお見合いイベントの企画・運営を議論する。⇒より現実的で効果の高い企画にするため、お見合い・婚活イベントのコンサルタント業務を行っている会社から講師(アドバイザー)を招き、専門的なアドバイスをもらう。 <p>【お見合いイベントの広報・募集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「山古志地域の男性 対 地域内外の女性」という形式を想定し参加者を募る。 ・首都圏を中心とした地域内外の女性をターゲットにした広報。⇒ターゲットのニーズを把握して、山の暮らしに関心の高い「本気」がある参加者を募集する。 <p>【お見合いイベントの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加費を一人 5,000 円程度徴収し、イベント時の飲食費や宿泊費に充てる。 ・20 対 20 程度を想定し、長岡駅発着の 1 泊 2 日で開催⇒講師からのアドバイスをもとに、棚田の景観、錦鯉、闘牛などの豊かな伝統文化、ライフスタイルなど、ありのままの山古志に参加者が魅力を感じてもらえる地域交流イベントを企画。山で暮らす人の姿に惚れ、地域を好きになってもらえる内容にする。 ・イベントのなかで、地域の食材をふんだんに使った、自炊(バーベキュー)形式の食事をを行う。山古志の特産食材について語りながら一緒に料理を作り、それを歓談しながら味わうことで、地元の魅力を PR し、参加者同士の親睦も深めることができる。お見合いイベントにおけるひとつの目玉企画とした。
本年度の事業スケジュール	<p>6月 若手部会の開催、専門家によるアドバイス 7月 広報・募集の開始 9月 お見合いイベントの開催</p> <p>※本事業後も、お見合い・出会いイベントなど、若者向けの交流事業を企画実施していくため、若手部会を継続的に開催する。</p>
地域活性化の波及性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のために何かしたいという若者が、地域活動に参加するきっかけが生まれる。 ・地域に対する想いが次世代へとつながる。 ・「結婚」「出産」できる! ・地域外の参加者から山古志に魅力を感じてもらい、地域との交流や、若者同士の交流への発展が期待できる。 ・若手部会を今後も継続的に開き、活発に議論し、事業の実施をしていくなかで、若い新たな力をもつ次世代の『山古志ニューリーダー』が育成されていく。

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙可)

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域コミュニティ事業補助金(F)		280,000	
自己 資金	自主財源	70,000	
特定 財源	寄附金	0	
	参加費	0	
	その他収入金	0	
	小 計(D)	0	
そ 他		200,000	※すべて補助対象外経費に充てる
合 計		550,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助 対象 経費	使用料	50,000	マイクロバスレンタル料(長岡駅⇒山古志往復)
	需用費	80,000	・チラシ、パンフレット印刷代 ・消耗品費
	役務費	80,000	・情報発信に係る広告料 ・イベント保険料 ・郵便料
	委託料	100,000	アドバイザー契約料
	原材料費	40,000	会場設営資材費
	小 計(C)	350,000	
補助 対象 外 経費	飲食代	40,000	
	宿泊代	160,000	
	小 計(B)	200,000	
合 計(A)		550,000	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。

山古志住民会議名簿

○メンバー

No.	区分	氏名	役職等（集落名）	備考
1	団体	星野 勇	竹沢よりみち倶楽部 (竹 沢)	【代表】
2	"	榑沢 和幸	山古志地域委員長 (種芋原)	※地域委員
3	"	榑沢 恵子	グループかたくり (種芋原)	
4	"	田中 仁	山古志商工会長、(株)山古志観光開発公社社長 (虫 亀)	※地域委員
5	"	田中 康雄	山古志商工会青年部長 (虫 亀)	
6	"	星野 京子	あねさの会 (竹 沢)	
7	"	斎藤 隆	(社)中越防災安全推進機構 地域アドバイザー (竹 沢)	【監事】
8	"	斎藤 末松	NPO法人 よしたー山古志 (池 谷)	
9	地域	齋藤 勝	学校評議員、山古志地域農業委員 (虫 亀)	
10	"	関 信一	梶金復興委員 (梶 金)	
11	"	五十嵐 豊	梶金復興委員 (梶 金)	
12	"	小川 美英子	東竹沢公民館 (小松倉)	
13	大学	上村 靖司	長岡技術科学大学 准教授	
14	"	澤田 雅浩	長岡造形大学 准教授	
15	"	福留 邦洋	東北工業大学 准教授	
16	事務局	井上 洋	長岡市地域復興支援センター山古志サテライト 主任復興支援員	【会計】
17				
18				
19				
20				

○顧問

No.	区分	氏名	役職等（集落名）	備考
1	有識者	長島 忠美	衆議院議員 (虫 亀)	
2	"	関 正史	長岡市議会議員、山古志観光協会会長 (梶 金)	
3	種芋原地区	榑澤 三治郎	種芋原地区協議会長 (種芋原)	※地域委員
4	虫亀地区	若槻 敬	虫亀地区協議会長 (虫 亀)	
5	竹沢地区	星野 吟二	竹沢地区協議会長 (竹 沢)	※地域委員
6	東竹沢地区	川上 幸治	東竹沢地区協議会長 (梶 金)	
7	三ヶ地区	畔上 由彦	三ヶ地区協議会長 (楢 木)	

○オブザーバー

(社)中越防災安全推進機構 長岡市山古志支所【監事】

○事務局

地域復興支援センター山古志サテライト

※色帯をコアメンバーとする。

山古志住民会議 会 則

(目 的)

第1条 この団体は、中越大震災からの山古志地域の復興推進・地域振興を進めるにあたり、地域住民や支援団体や大学、行政などが連携して、地域全体の現状やなりたい姿(将来像)、「感謝・復興」などについて議論し、地域住民や地域への来訪者に目に見えるソフト・ハード事業を展開していくことで、地域全体の活性化を目指すことを目的とする。

(名 称)

第2条 この団体は、「山古志住民会議」と称する。

(事 務 所)

第3条 この団体の事務所は、新潟県長岡市山古志地域に置く。

(事 業)

第4条 この団体は、第1条の目的を達成するために、次のことを行う。

- (1)山古志地域全体を考えた「将来構想」及び「行動計画」を作成する。
- (2)復興イベントを企画・実施する。
- (3)集落や住民、復興支援団体などが行う復興活動を支援する。
- (4)地域全体の活性化につながるハード整備の検討を行う。
- (5)その他、目的達成のために必要な事業を随時行う。

(組 織)

第5条 この団体のメンバーは、山古志地域の復興及び地域振興に関わる個人及び団体とする。

2 この団体は、委員及び運営委員、顧問から構成する。なお、構成員のうち、代表1名と会計監事2名を選任する。

(会議の招集)

第6条 この団体の会議は、必要に応じ代表が召集する。

(事業年度)

第7条 この団体の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月末日に終わる。

附則 この会則は、平成19年8月10日から適用する。

長岡市長 森 民夫 様



平成24年 4月27日

〒 9 4 7 - 0 2 0 3

申請者 住 所 長岡市山古志東竹沢甲235-乙

団体名 やまこし東竹沢村

代表者 代表(村長) 小川 喜太郎



平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金交付申請書

平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

事業名	東竹沢小学校跡地緑化事業																																
事業概要	<p>【目的】 梶金、木籠、小松倉の3集落からなる東竹沢地区では、東竹沢小学校閉校後も小学校をよりどころとして、公民館活動を始めとする行事、地域活動を行ってきた。中越地震後は小学校が取り壊され、交流の場が減ってしまった。また、自分たちの母校である小学校の跡地が荒れていくのをつらく感じてきた。 ついては、東竹沢小学校跡地を整備・緑化し、改めて東竹沢地区のよりどころとして復活させ、三集落の連携を深める拠点として活用することを目的とする。</p> <p>【内容】 ・東竹沢小学校跡地の整備、緑化 ・3集落住民交流会の開催</p>																																
補助申請額	下記 (F)の額を記入 2 2 0 0 0 0 円																																
補助申請額算出の基礎	<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%;">支出の部合計(A)</td> <td style="width:33%;">補助対象外経費(B)</td> <td style="width:33%;">補助対象経費(C)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">295,000円</td> <td style="text-align: center;">20,000円</td> <td style="text-align: center;">275,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">=</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">特定財源(D)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの</td> <td style="text-align: center;">= 0円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(C)-(D)=補助金算出対象額 (補助率)</td> <td style="text-align: center;">補助金額 (E)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">275,000円</td> <td style="text-align: center;">× 80%</td> <td style="text-align: center;">= 220,000円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">↓</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F) ※金額の上限は50万円です</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">220,000円</td> </tr> </table>			支出の部合計(A)	補助対象外経費(B)	補助対象経費(C)	295,000円	20,000円	275,000円			=			特定財源(D)	事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの		= 0円	(C)-(D)=補助金算出対象額 (補助率)		補助金額 (E)	275,000円	× 80%	= 220,000円	↓			補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F) ※金額の上限は50万円です			220,000円		
支出の部合計(A)	補助対象外経費(B)	補助対象経費(C)																															
295,000円	20,000円	275,000円																															
		=																															
		特定財源(D)																															
事業を実施することによって得られる収入のうち、補助対象経費に充てるもの		= 0円																															
(C)-(D)=補助金算出対象額 (補助率)		補助金額 (E)																															
275,000円	× 80%	= 220,000円																															
↓																																	
補助金額 (E) の千円未満切り捨てた額 (F) ※金額の上限は50万円です																																	
220,000円																																	
事業期間 (予定)	着手	平成24年 6月 1日	完了 平成25年 3月 31日																														
添付書類	<input type="checkbox"/> 団体の概要説明書 (第2号様式) <input type="checkbox"/> 事業計画書 (第3号様式) <input type="checkbox"/> 事業の収支予算書 (第4号様式)																																



第2号様式

受付 No

平成24年度 長岡市地域コミュニティ事業補助金申請団体の概要

1. 申請団体の概要および申請事業の計画等【公開対象】

ふりがな	やまこしひがしたけざわむら		
団体名	やまこし東竹沢村		
代表者氏名	(肩書: 村長) 小川 喜太郎		
設立年月日	昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	24年 4月 1日	構成員数 47人
設立目的	旧東竹沢小学校跡地を活用する事業を行うことで、東竹沢地区の三集落の連携活動を促進することを目的とする。		
これまでの活動実績	<p>新設団体のためこれまでの活動実績はないが、それぞれの集落や公民館活動として下記の活動を行ってきた。</p> <p>○各集落</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事(盆踊り、さいの神、十二講の実施) ・復興デザイン策定事業 <p>○公民館活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青葉台交流田んぼの活用事業 ・手作り雪中貯蔵庫づくり ・二十村郷合同盆踊り大会 in 東竹沢 		
過去の補助実績 (該当する場合のみ)	年度	補助を受けた制度の名称	補助金額(円)
添付資料	事業計画	・別添「第3号様式 事業計画書」のとおり	
	収支予算等	・別添「第4号様式 事業の収支予算書」のとおり	
	その他、団体をPRするパンフレット等	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 (どちらかに○印)	

2. 申請団体の連絡先等【公開、非公開を選択※】

事務所所在地	長岡市山古志東竹沢町235-2	【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】	
電話・FAX番号等	TEL: 055-231-3311 FAX: 055-231-3312 Eメールアドレス: なし	【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】	
担当者連絡先	氏名	小川 喜太郎	【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】
	住所	長岡市山古志東竹沢町235-2	
	電話・FAX番号等	TEL: 055-231-3311 FAX: 055-231-3312	
	Eメールアドレス	なし	
添付資料	名簿またはこれに類するもの	・別添のとおり	【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】
	規約またはこれに類するもの	・別添のとおり	【公開 ・ <input checked="" type="radio"/> 非公開】

※ 個人情報保護の観点から、広く公開してもよいものなら“公開”に、そうでないものは“非公開”に○を付けてください。

※ 2の添付資料(名簿類・規約類)については、交付審査の際の資料として審査関係者に提示する場合があります。

事業計画書

事業名	東竹沢小学校跡地緑化事業
<p>事業実施の目的</p> <p>(目的 現状 課題 必要性)</p>	<p>梶金、木籠、小松倉の3集落からなる東竹沢地区では、東竹沢小学校閉校後も小学校をよりどころとして、公民館活動を始めとする行事、地域活動を行ってきた。中越地震後は小学校が取り壊され、交流の場が減ってしまった。また、自分たちの母校である小学校の跡地が荒れていくのをつらく感じてきた。</p> <p>については、東竹沢小学校跡地を整備・緑化し、改めて東竹沢地区のよりどころとして復活させ、三集落の連携を深める拠点として活用することを目的とする。</p> <p>整備後、連携を深める第一歩として、3集落みんなが集まる交流会を開催したい。</p>
<p>事業内容</p> <p>(実施月日 実施場所 参加者数 実施内容等)</p>	<p>【東竹沢小学校跡地の整備・緑化】</p> <p>現在、東竹沢小学校跡地は手つかずの状態、これから夏にかけて雑草等も生い茂ってくるものと思われる。これを地元三集落の交流拠点となるように、20×90㎡の面積を整備する。(別紙のとおり)</p> <p>小学校跡地は長岡市の行政財産であることから、長岡市長へ行政財産の目的外使用許可を申請し、許可を得てから事業に着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整備について…重機での整地、雑草の刈り取りを行う。 ・緑化について…花の苗を購入し植えていく。花の種類、植え方について、事前に団体内で協議する。 <p>整備～緑化まで、集落住民みんなで行えるよう、参加を呼びかける。例えば、「一人ひとりと花植えよう！」という形式にして全員の手で交流拠点を作っていききたい。</p> <p>【3集落住民交流会の開催】</p> <p>跡地の整備完了を祝い、食事を交えた交流会を実施する。小学校についての懐かしい思い出を語り、そしてこれからの東竹沢地区をもっと良くしていこうという共通意識を醸成する会にしたい。</p> <p>※交流会にかかる費用はすべて補助対象外経費とする。</p> <p>※花植えや交流会には、三集落住民だけでなく、「青葉台山古志応援団」など、地域外の方からも来てもらい交流を行う予定。</p>
<p>本年度の事業スケジュール</p>	<p>6月 ・行政財産目的外使用申請書の提出 ↓ ・跡地の整備、参加呼びかけ 8月 ・跡地の緑化、参加呼びかけ ↓ 10月 ・交流会の開催</p> <p>※ただし、気候状況により開催時期の変更あり。</p>
<p>地域活性化の波及性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の事業を集落共同で行うことによって、三集落住民が集まり顔を合わせる機会ができる。集落同士のつながりが強まり、地域活動の活性化も期待できる。 ・今後も定期的に、小学校跡地の共同花植えなど、交流イベントを開き、集落住民がより多くの人とふれあう場としたい。山古志内の他集落や地域外からの参加を積極的に呼びかける

※ 事業の内容は、詳細に記載してください。(別紙も可)

別紙

東竹沢小跡地 航空写真 (google マップより)



第4号様式

事業の収支予算書

収入の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
地域コミュニティ事業補助金(F)		220,000	
自己資金		55,000	3集落からの持ち寄り
特定財源	寄附金		
	参加費		
	その他収入金		
	小計(D)	0	
その他	交流会参加費	20,000	※すべて補助対象外経費に充てるもの
合計		295,000	

支出の部

(単位:円)

項目		予算額	内 訳
補助対象経費	使用料	220,000	交流農地圃場整備重機借り上げ@70,000円×2日 重機運搬費(トラックレンタル等)@30,000円 農機具借り上げ@50,000円
	原材料費	55,000	花苗代@15,000 たい肥代など@40,000
	小計(C)	275,000	
補助対象外経費	交流会費	20,000	交流会飲食費など
	小計(B)	20,000	
合計(A)		295,000	

※ 項目欄が不足する場合は、同類の項目をまとめて記入し、細目は別紙に記載してご提出ください。